

「手紙／深沼ビーチクリーン記録展」関連企画

街の詩を奏でる

2011～2021

武田こうじ ポエトリー・リーディング・ライブ

仙台という街で、詩や音楽を綴ってきたアーティストが、
東日本大震災から10年目の今、何を奏でるのか。

せんだい3.11メモリアル交流館でのトーク&ライブセッションを
通して、参加者とともに考えていきます。
(当日のイベントは、ラジオ3「手紙」の公開収録になります)

会場 せんだい3.11メモリアル交流館 1階交流スペース

日時 2021年3月6日(土) 午後1時30分～2時30分
(午後1時開場)

出演 武田こうじ(詩人)
伊東洋平(ミュージシャン)
齋藤めぐむ(ピアノ)

申込み(先着順 定員20名 入場無料)

2021年2月6日(土) 午前10時からTELにて
TEL 022-390-9022 (せんだい3.11メモリアル交流館)



※メモリアルシアターは、せんだい3.11メモリアル交流館が、震災の体験や想いをもとにした“物語”や“表現”を伝える、「小さな劇場」です。

出演者プロフィール

武田こうじ

詩集の刊行、ポエトリー・リーディング・ライブをさまざまな場所で開催。

また、病院や学校で詩のワークショップや読みきかせをしている。

仙台市立富沢小学校校歌作詞、丸森町立丸森中学校校歌作詞、

仙台市立錦ヶ丘小学校校歌作詞。

震災後は仙台市のフリーペーパー『RE: プロジェクト通信』で、

被害の大きかった沿岸部を取材しながら、詩の連載をしている。

2015年3月11日の仙台市東日本大震災追悼式で詩を朗読。

伊東洋平

2005～2014年アコースティックポップデュオ「イケメンズ」の

リーダーとして活動。2014年5月30日にイケメンズの活動が終了し、

同年夏、新たにソロとして活動を始動。

何より＜笑顔を届ける＞ことを軸に置いた音楽活動をメインとしながら、

楽曲提供やMCなど、形にとらわれず幅広い活躍を見せている。

齋藤めぐむ

マーブルロードおおまち（中央通おおまち商店街）アーケード上の

オルガン演奏、太平洋フェリーラウンジ演奏を始め、数々の場所で

鍵盤楽器のソロ演奏を行っている。

アーティストのサポートキーボードとしても演奏を行っているほか、

バレエやミュージカル等の舞台楽曲制作、TVCMの音源制作やラジオ

キャンペーンソングの編曲、オリジナル曲の制作、ラジオパーソナリティ

など、多方面で活動中。

手紙／深沼ビーチクリーン記録展

会場 せんだい3.11メモリアル交流館 2階スタジオ

会期 2021年2月27日(土)～3月14日(日) (休館 3/1、3/8)

毎月第2日曜日に開催している深沼ビーチクリーンの記録写真と、ラジオ3で放送している番組「手紙」の言葉を合わせた展示です。